

実務経験のある教員による授業科目一覧：2026年度

| 担当教員名 | 授業科目名 | 単位数 | 配置学部 または学科 | 授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか） |
|---------------|------------------|-----|----------------|---|
| 伊藤 千尋 | 精神障害リハビリテーション論 | 2 | 社会福祉学科 専門科目 | 精神保健福祉士として、地域の相談支援事業所、精神障害者家族会の相談室にて相談業務に携わっていた経験を活かし、精神保健福祉士の視点や技術が現場でどのように活かされているのか、学生が実践的な知識を身につけることを意識して授業を展開している。 |
| 渋谷 哲 | 貧困に対する支援 | 2 | 社会福祉学科 専門科目 | 福祉事務所のソーシャルワーカーとして低所得者福祉サービスの対象者への相談支援の実務経験を活かし、貧困に対する制度とそれを活用した支援方法を講じている。 |
| 渋谷 哲 | 現代社会と福祉 | 4 | 社会福祉学科 専門科目 | 福祉事務所や障害者支援施設等のソーシャルワーカーとして、社会福祉6法の全ての対象者への相談支援の実務経験を活かし、社会福祉の制度や支援方法を講じている。 |
| 金井 直子 | 権利擁護と成年後見制度 | 2 | 社会福祉学科 専門科目 | 権利擁護と成年後見制度社会福祉士の成年後見人等の研修を受けて、成年後見人等を受任し活動している。授業のなかでは成年後見制度と具体的な活動について講義している。 |
| 佐藤 惟 | 高齢者に対する支援と介護保険制度 | 2 | 社会福祉学科 専門科目 | 高齢者福祉施設および訪問介護事業所の職員として、介護業務や生活相談員業務を担当した実務経験を活かし、高齢者の生活や介護職員の労働環境、認知症ケア、終末期ケア等を講じている。 |
| 伊藤 千尋 | 精神保健福祉制度論 | 2 | 社会福祉学科 専門科目 | 精神保健福祉士として、地域の相談支援事業所、精神障害者家族会の相談室にて相談業務に携わっていた経験を活かし、精神保健福祉士の視点や技術が現場でどのように活かされているのか、学生が実践的な知識を身につけることを意識して授業を展開している。 |
| 社会福祉学科 合計14単位 | | | | |
| 山西 哲也 | スポーツ実技Ⅱ | 2 | 教育福祉学科 専門科目 | 中学ならび高等学校「体育」担当し、生徒に学習指導要領に示されている教科保健体育の学習内容の指導実践を活かし保健体育科教員に求められる運動スキルと身体知識の獲得を指導している。 |
| 西山 博 | 知的障害者教育論 | 2 | 教育福祉学科 専門科目 | 特別支援学校教員及び管理職として、学習指導、生徒指導、教育相談、学級経営、学校経営等に従事した。また、教育委員会指導主事及び管理主事として、教育施策の企画調整、教職員研修の企画運営などの教育行政に従事した。これらの実務経験を活かし、知的障害教育の指導法、教育課程等を講じている。 |
| 桃枝 智子 | 保育内容の理解と方法Ⅰ | 2 | 教育福祉学科 専門科目 | 保育者養成短期大学附属幼稚園の教諭として保育実践、基本実習担当教諭として実習生の指導に携わった。それらの実務経験を活かし、実践的な視点も踏まえた授業展開を行う。 |
| 西山 博 | 知的障害者の心理・生理・病理 | 2 | 教育福祉学科 専門科目 | 特別支援学校教員及び管理職として、学習指導、生徒指導、教育相談、学級経営、学校経営等に従事した。また、教育委員会指導主事及び管理主事として、教育施策の企画調整、教職員研修の企画運営などの教育行政に従事した。これらの実務経験を活かし、知的障害教育の指導法、教育課程等を講じている。 |
| 西山 博 | 重複障害者教育総論 | 2 | 教育福祉学科 専門科目 | 特別支援学校教員及び管理職として、学習指導、生徒指導、教育相談、学級経営、学校経営等に従事した。また、教育委員会指導主事及び管理主事として、教育施策の企画調整、教職員研修の企画運営などの教育行政に従事した。これらの実務経験を活かし、重複障害教育の指導法、教育課程等を講じている。 |
| 山西 哲也 | 体力測定法 | 2 | 教育福祉学科 専門科目 | 中学・高等学校「運動部活動」担当し、科学的根拠に基づいた支援の実施と部員の主体性を伸ばす実践経験から科学的視点の重要性と理論を講じている。 |
| 岩崎 順子 | 学校保健 | 2 | 教育福祉学科 専門科目 | 小・中学校養護教諭として26年間、管理職として7年間、教育行政5年間（県教委3年、市教委2年）勤務し、「学校保健」「保健教育」「健康相談」「教育相談」等に従事した。これらの実務経験を活かし、専門性・技能等を指導している。 |
| 教育福祉学科 合計14単位 | | | | |

実務経験のある教員による授業科目一覧：2026年度

| 担当教員名 | 授業科目名 | 単位数 | 配置学部 または学科 | 授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか） |
|-------------------|------------|-----|------------------------|---|
| 宮本 桃英 愛甲 修子 | 発達心理学 | 2 | 実践心理学科 専門科目 | <宮本 桃英> 乳幼児とその保護者・保育者・支援者を対象とした児童福祉施設における支援の実務経験を活かし、現代の子どもの育つ環境や保護者の心理、子どもの発達等について講じている。 <愛甲 修子> 児童相談所心理職、小中学校、高等学校、大学等スクールカウンセラー、医療カウンセラー等の経験を講義内容に反映させている。 |
| 大橋 靖史 | 司法・犯罪心理学 | 2 | 実践心理学科 専門科目 | 法務省法務技官として、また、犯罪被害者支援センター理事長として、更には供述心理鑑定人として、司法・犯罪心理学に関わる様々な業務に従事した経験を踏まえ、多様な視点から司法・犯罪心理学について論じている。 |
| 宮本 桃英 | 児童心理学 | 2 | 実践心理学科 専門科目 | 乳幼児とその保護者・保育者・支援者を対象とした児童福祉施設における支援の実務経験を活かし、現代の子どもの育つ環境や保護者の心理、子どもの発達等について講じている。 |
| 田中 寿夫 | 教育・学校心理学 | 2 | 実践心理学科 専門科目 | 公的教育相談機関における教育相談員、小・中学校におけるスクールカウンセラーといった実務経験を基に、教育現場で生じる児童生徒や保護者および教員に関わる多様な問題の現状とその支援のあり方等について講じている。 |
| 千葉 浩彦 | 心理療法 | 2 | 実践心理学科 専門科目 | 心理臨床センターの相談指導員(2003～現在)等として、心理療法を行っており、その経験を講義内容に反映させている。 |
| 千葉 浩彦 | 公認心理師の職責 | 2 | 実践心理学科 専門科目 | 心理臨床センターの相談指導員(2003～現在)等として、心理療法を行っており、その経験を講義内容に反映させている。 |
| 大橋 靖史 宮本 桃英 | 心理実習 | 2 | 実践心理学科 専門科目 | <大橋 靖史> 法務省法務技官として、また、犯罪被害者支援センター理事長として、更には供述心理鑑定人として、司法・犯罪心理学に関わる様々な業務に従事した経験を踏まえ、多様な視点から司法・犯罪心理学について論じている。 <宮本 桃英> 乳幼児とその保護者・保育者・支援者を対象とした児童福祉施設における支援の実務経験を活かし、現代の子どもの育つ環境や保護者の心理、子どもの発達等について講じている。 |
| 実践心理学科 合計14単位 | | | | |
| 岩松 真紀 | 社会教育学 | 2 | コミュニティ 政策学科 専門科目 | かつて高等学校で「生物基礎」を担当した経験をもとに、これまで学生の受けてきた学校教育と担当する「社会教育学」との違いについて講じている。また、東京都公民館連絡協議会の調査・研究班の活動や、東村山市公民館運営審議会委員としての経験、さらにそこからのつながりを活かし、社会教育学を実践的に講じている。 |
| 桜井 篤 | 地域振興論 | 2 | コミュニティ 政策学科 専門科目 | 地方公務員（民間採用期限付き特別管理職）として政令指定都市の観光振興プロモーションセクション長を7年担った他、民間企業での観光まちづくり、観光情報誌編集長、地域観光コンサルタントの育成経験など合計35年の経験をもとに、地域資源の魅力発掘プロデュースのスキルを培い地域振興に貢献しうる人材論などを講じている。 |
| 利渉 洋一 | スポーツマネジメント | 2 | コミュニティ 政策学科 専門科目 | Jリーグクラブ、ジェフユナイテッド株式会社にて1993年から勤務。試合運営、広報、チーム主務、チケットング、マーケティング、営業、総務、指定管理事業等を担務。社外においてもワールドカップチームリエゾンオフィサー、クラブワールドカップメディアオフィサー、日本代表主務等を経験。 |
| 日野 勝吾 | 民法（総則・物権法） | 2 | コミュニティ 政策学科 専門科目 | 国家公務員として、消費者・労働者を保護する立法に係る政策企画立案等に従事した経験を有する。また、独立行政法人職員として、裁判外紛争解決手続（行政ADR）に係る法的紛争解決実務等に従事した経験を有する。こうした経験を踏まえ、実務上の法的論点に基づいて法政策の在り方を講じるとともに、民事事件に関する紛争処理手続上の法的論点等を講じる。 |
| 日野 勝吾 | 債権法 | 2 | コミュニティ 政策学科 専門科目 | 国家公務員として、消費者・労働者を保護する立法に係る政策企画立案等に従事した経験を有する。また、独立行政法人職員として、裁判外紛争解決手続（行政ADR）に係る法的紛争解決実務等に従事した経験を有する。こうした経験を踏まえ、実務上の法的論点に基づいて法政策の在り方を講じるとともに、民事事件に関する紛争処理手続上の法的論点等を講じる。 |
| 馬場 宏輝 | 地域スポーツ概論 | 2 | コミュニティ 政策学科 専門科目 | この科目では、日本体育協会（現、日本スポーツ協会）事務局（スポーツ少年団・スポーツ指導者育成部）での実務・事業運営経験を活かして、地域スポーツに関する基本的な知識と現状、日本におけるスポーツ振興政策等について講義している。 |
| 橋口 京子 | 消費者法 | 2 | コミュニティ 政策学科 専門科目 | 消費生活相談員として消費者行政最前線の消費者支援実務の他、裁判外紛争解決機関の裁定委員、適格消費者団体の検討委員等に従事する経験をもとに、消費者法と消費者、消費者問題等について講じている。 消費者教育全般及び金融教育に関する講師を務める経験、また社会教育士としての活動経験をもとに、消費者法を実社会の課題と結びつけ、体系的に講じている。 |
| コミュニティ政策学部 合計14単位 | | | | |

実務経験のある教員による授業科目一覧：2026年度

| 担当教員名 | 授業科目名 | 単位数 | 配置学部 または学科 | 授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか） |
|--------|------------------------|-----|---------------|---|
| 長坂 育代 | 基礎看護学実習Ⅰ（看護を知る） | 1 | 看護学科 専門科目 | 看護師としての実務経験のある教員が、医療施設の構造と機能、看護職の対象者への関わり方について指導する科目である。臨地において、医療現場で働く看護師が入院患者とどのように関わっているのか見学し、その意味について考える科目である。 |
| 小川 純子 | 基礎看護学実習Ⅱ（地域で暮らす人々との共生） | 2 | 看護学科 専門科目 | 看護師、保健師として実務経験のある教員が、地域で暮らす人々の生活や価値観が多様であること、他者を尊重する態度について指導する科目である。地域で生活している疾病や障がいをもつ人のための通所施設や、小児・高齢者のための福祉施設の活動に参加したり、障がいのある人と関わる中で、学生が、その意味について考えることができるように指導する科目である。 |
| 坂下 貴子 | 基礎看護学実習Ⅳ（看護実践場面における共生） | 2 | 看護学科 専門科目 | 看護師としての実務経験がある教員が、その人に適切な看護ケア方法を決定する過程や、情報収集・アセスメントを行いその人に必要な看護援助の方向性を導く方法について指導する科目である。初めて患者を受け持ち、日常生活行動援助を中心に、必要な援助の計画・実施・評価を行う。 |
| 岩崎 紀久子 | 成人看護学実習 | 4 | 看護学科 専門科目 | 看護師として成人看護の実務経験のある教員が、健康障害をもち、治療を受けている患者の治療内容と健康段階に応じた看護実践に必要な基礎的知識・技術について指導する科目である。 |
| 岡本 あゆみ | 老年看護学実習 | 2 | 看護学科 専門科目 | 看護師として高齢者看護の実務経験を有する教員が、臨地での多角的な視点に基づき指導する。高齢者の心身・生活機能に加え、人生の軌跡や個々の強みを包括的に捉え、老いや障害を抱えながらも尊厳をもって自分らしく生活できるように支えることを指導する科目である。 |
| 小川 純子 | 母性・小児看護学実習 | 4 | 看護学科 専門科目 | 助産師として病院における産婦人科での実務経験のある教員が、妊娠、分娩、子育て期にある女性とその胎児・新生児および家族の健康の維持増進に向けた看護について指導し、小児医療の現場にて小児と家族に対する看護実践の経験のある教員が、成長発達過程にある子どもの成長と、子どもと家族の健康の維持増進に向けた看護について指導する科目である。さらに、学生が、前述の内容を統合し、成育期にある子どもと家族の多様性を理解し、子どもと家族の健康状態を維持増進するための看護職の果たす役割について考えることを指導する。 |
| 原田 浩二 | 精神看護学実習 | 2 | 看護学科 専門科目 | 大学病院、総合病院、精神科医療機関において精神疾患患者や精神的支援の必要な患者を看護した経験や、精神障害者が運営する施設において支援経験のある教員が、支援対象の生涯を通じた回復過程に沿いながら、その人が可能な限り自らによって潜在的な力を発揮できるような支援について指導するものである。 |
| 氏原 将奈 | 在宅看護学実習 | 2 | 看護学科 専門科目 | 看護師、保健師として地域で暮らす人々及び地域自体を看護した経験のある教員が、在宅看護の対象である多様な人々の健康管理及び生活の場に応じた看護について指導するとともに、地域包括ケアシステムにおける地域関係職種・関係機関との連携や協働について指導する科目である。 |
| 看護学科 | | | | 合計19単位 |

実務経験のある教員による授業科目一覧：2026年度

| 担当教員名 | 授業科目名 | 単位数 | 配置学部 または学科 | 授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか） |
|-------------|-------------|-----|---------------|---|
| 山内 好江 | 給食経営管理論Ⅰ | 2 | 栄養学科 専門科目 | 大規模特定給食施設における給食経営管理経験のある教員が、特定給食施設の定義・目的・役割、関連法規、運営とマネジメント、管理栄養士・栄養士の役割や業務内容について具体的な実例を用いて指導する科目である。 |
| 山内 好江 | 給食経営管理論Ⅱ | 2 | 栄養学科 専門科目 | 大規模特定給食施設における給食経営管理経験のある教員が、給食経営の現状や問題点、今後の展開方法について指導する科目である。 |
| 山内 好江 | 給食経営管理論臨地実習 | 1 | 栄養学科 専門科目 | 大規模特定給食施設における給食経営管理経験のある教員が、給食施設の概要と特徴、給食経営管理のシステムとマネジメントの手法、栄養・食事管理、衛生・安全管理、生産管理、品質管理等について指導する科目である。 |
| 坂口 景子 | 公衆栄養学Ⅰ | 2 | 栄養学科 専門科目 | 行政による公衆栄養活動経験のある教員が、公衆栄養学の概念、日本および国際的な健康・栄養問題の現状と課題、健康づくり政策と公衆栄養活動に関連する法律・制度について指導する科目である。 |
| 坂口 景子 | 公衆栄養学Ⅱ | 2 | 栄養学科 専門科目 | 行政による公衆栄養活動経験のある教員が、栄養疫学の概要、公衆栄養マネジメント、公衆栄養プログラムの展開について指導する科目である。 |
| 坂口 景子 | 公衆栄養学臨地実習 | 1 | 栄養学科 専門科目 | 行政による公衆栄養活動経験のある教員が、公衆栄養活動を展開している県の保健所および市町村の保健センターにおいて、公衆栄養マネジメント、公衆栄養プログラムの展開について指導する科目である。 |
| 海老原 泰代 | 栄養教育論Ⅰ | 2 | 栄養学科 専門科目 | 病院および公的健康増進施設（保健所・保健センター・健診施設）での栄養指導経験のある教員が、栄養教育の目的や意義、栄養教育に必要な行動科学の理論について指導する科目である。 |
| 海老原 泰代 | 栄養教育論Ⅱ | 2 | 栄養学科 専門科目 | 病院および公的健康増進施設（保健所・保健センター・健診施設）での栄養指導経験のある教員が、ライフステージ、ライフスタイルに合わせた栄養教育のマネジメントについて指導する科目である。 |
| 海老原 泰代 | 栄養教育論Ⅲ | 2 | 栄養学科 専門科目 | 病院および公的健康増進施設（保健所・保健センター・健診施設）での栄養指導経験のある教員が、個別の栄養指導における栄養カウンセリングについて指導する科目である。 |
| 海老原 泰代 | 栄養教育論実習Ⅰ | 1 | 栄養学科 専門科目 | 病院および公的健康増進施設（保健所・保健センター・健診施設）での栄養指導経験のある教員が、食事や食習慣からの栄養アセスメント、ライフステージに合わせた集団の栄養教育について指導する科目である。 |
| 海老原 泰代 | 栄養教育論実習Ⅱ | 1 | 栄養学科 専門科目 | 病院および公的健康増進施設（保健所・保健センター・健診施設）での栄養指導経験のある教員が、集団・個別の栄養教育および栄養指導について指導する科目である。 |
| 松原 弘樹 | 臨床栄養学Ⅰ | 2 | 栄養学科 専門科目 | 病院管理栄養士として臨床経験のある教員が、管理栄養士としての倫理観、患者の栄養アセスメント、栄養診断、介入方法について具体的な実例を用いて基礎知識を指導する科目である。 |
| 松原 弘樹 | 臨床栄養学Ⅳ | 2 | 栄養学科 専門科目 | 病院管理栄養士として臨床経験のある教員が、最新のガイドラインや実際の症例を用いて、栄養アセスメント、栄養診断・栄養介入方法を指導する科目である。 |
| 松原 弘樹 | 臨床栄養学実習Ⅱ | 1 | 栄養学科 専門科目 | 病院管理栄養士として臨床経験のある教員が、各疾病に対する個人栄養食事指導・集団栄養食事指導の実践とチーム医療の構成員としてのスキルと食事提供を含めた病院栄養管理マネジメントを指導する科目である。 |
| 栄養学科 合計23単位 | | | | |

実務経験のある教員による授業科目一覧：2026年度

| 担当教員名 | 授業科目名 | 単位数 | 配置学部 または学科 | 授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか） |
|---------------------------------------|--------------|-----|---------------|---|
| 経営学科（2022年度以前入学生向け旧教育課程） | | | | |
| 佐原 太郎 | マーケティング総論Ⅰ | 2 | 経営学部 | 金融機関におけるマーケティング実務を通じて多様な業界の市場分析や、プロダクトマネジメントといった業務を担当。実務経験を通じて得た知見を具体的事例やケース教材として授業に取り入れ、理論と実践を結びつけた学修機会を提供する。 |
| 金 世煥 | 消費者行動論 | 2 | 経営学部 | 2005年から2022年までの17年間、日・韓企業関連の経営コンサルタントとして「モノやサービス商品」に関する市場と消費者調査を行ってきたため、その経験を関連科目に生かしている。例えば、「消費者行動」と「マーケティング」の関係や、AI時代における消費者の購買行動の変化、さらに、「ジェネレーションZ」と「共有経済」の関連性など、急変する消費者行動の特徴と変化を、理論的なアプローチだけではなく、現場の立場を理解した実践的な講義を行っている。 |
| 経営学科（2022年度以前入学生） 合計4単位（学部共通科目4単位を含む） | | | | |
| 経営学科（2023年度以降入学生向け新教育課程） | | | | |
| 高橋 修 | 組織行動論 | 2 | 経営学科 専門科目 | 研修企画、人事評価制度の設計、組織診断等を担当した人事コンサルタントとしての実務経験がある教員が、組織と人間との関わりに焦点を当て、現代社会で生きていくために必要な知識・能力について、実践的観点から具体的事例をまじえながら講義を行う。 |
| 高橋 修 | 人的資源管理論 | 2 | 経営学科 専門科目 | 研修企画、人事評価制度の設計、組織診断等を担当した人事コンサルタントとしての実務経験がある教員が、企業における従業員格付、採用、配置・異動、人材開発、評価・報酬などについて、実践的観点から具体的事例をまじえながら講義を行う。 |
| 高橋 修 | 人材開発論 | 2 | 経営学科 専門科目 | 研修企画、人事評価制度の設計、組織診断等を担当した人事コンサルタントとしての実務経験がある教員が、組織における人材開発の目的・内容・方法について、実践的観点から具体的事例をまじえながら講義を行う。 |
| 金 世煥 | 商品開発論 | 2 | 経営学科 専門科目 | 2005年から2022年までの17年間、日・韓企業関連の経営コンサルタントとして企業経営における新しい商品やサービスの企画・運営を行ってきたため、商品開発に関連する経験を関連科目に生かしている。例えば、商品開発における顧客のニーズ分析のもと、市場が求める商品・サービスの企画（設計）や製造する際の注意点を経営管理論の側面から講義を行っている。さらに、担当教員が実感した製造と環境を考慮した「デザイン思考（デザインシンキング）」の重要性を強調している。また、担当教員が現場で実際行った実践事例として、①コンテナ型レストランの企画・運営、②韓国の伝統的な花茶(Soksakim)の企画・運営、③K-popイベント場(Show Box)の企画・運営などを事前知識として講義を行い、商品開発における現場知識を定着させるようにしている。 |
| 裴 鍾民 | マーケティングデータ分析 | 2 | 経営学科 専門科目 | IT企業（6年以上）とITコンサルタント（9年間）の経験を有し、ITサービスの企画、開発、プロジェクトの管理等を担当。DXが進んでいるIT企業での経験を基にエクセルのスキルアップについて講義する。それと同時に、多様な形の企業データを扱ったITコンサルタントとしての経験を基にマーケティングデータを分析する考え方を講義する。 |
| 裴 鍾民 | 経営学概論 | 2 | 経営学科 専門科目 | IT企業（6年以上）とITコンサルタント（9年間）の経験を有し、ITサービスの企画、開発、プロジェクトの管理等を担当。ITエンジニア、ITマネージャー、サービス企画・事業企画の仕事に関わった経験を基に、競争戦略と事業企画について講義する。 |
| 裴 鍾民 | 経営情報総論 | 2 | 経営学科 専門科目 | IT企業（6年以上）とITコンサルタント（9年間）の経験を有し、ITサービスの企画、開発、プロジェクトの管理等を担当。IT業界の経験を基に経営情報の構築・運用・活用を講義すると共に、経営情報論を理解するための基礎知識（ITインフラとプログラミング知識等）を講義する。 |
| 経営学科（2023年度以降入学生） 合計14単位 | | | | |

実務経験のある教員による授業科目一覧：2026年度

| 担当教員名 | 授業科目名 | 単位数 | 配置学部 または学科 | 授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか） |
|---|-----------------|-----|----------------|--|
| 観光経営学科（2022年度以前入学生向け新教育課程） | | | | |
| 佐原 太郎 | マーケティング総論Ⅰ | 2 | 経営学部 | 金融機関におけるマーケティング実務を通じて多様な業界の市場分析や、プロダクトマネジメントといった業務を担当。実務経験を通じて得た知見を具体的事例やケース教材として授業に取り入れ、理論と実践を結びつけた学修機会を提供する。 |
| 金 世煥 | 消費者行動論 | 2 | 経営学部 | 2005年から2022年までの17年間、日・韓企業関連の経営コンサルタントとして「モノやサービス商品」に関する市場と消費者調査を行ってきたため、その経験を関連科目に生かしている。例えば、「消費者行動」と「マーケティング」の関係や、AI時代における消費者の購買行動の変化、さらに、「ジェネレーションZ」と「共有経済」の関連性など、急変する消費者行動の特徴と変化を、理論的なアプローチだけではなく、現場の立場を理解した実践的な講義を行っている。 |
| 吉田 雅也 | 観光マーケティング | 2 | 観光経営学科 専門科目 | 外資系ホテルにおいてマーケティング実務経験を持つ教員が、観光産業におけるマーケティングについて、理論と実践手法を解説する。受講者は講義で得た知識に基づき、グループワークを行い、観光企業のマーケティング戦略を分析・発表することにより、知識の定着と実践力の向上を図る。 |
| 吉田 雅也 | ホテル管理会計論 | 2 | 観光経営学科 専門科目 | 外資系ホテルおよび国内ホテルでの勤務経験を持つ教員が、ホテル業界で重視されている経営指標や会計手法、ホテルのタイプや経営形態による経営指標の差異や管理会計手法について講義を行う。 |
| 朝倉 はるみ | 観光地理国内 | 2 | 観光経営学科 専門科目 | 旅行・観光に関する調査研究機関でのコンサルタント経験を持つ教員が、観光産業への就職を目指す学生にとって不可欠である、全都道府県の代表的観光地と観光資源（温泉、山・高原・渓谷、島・半島、寺社・城郭など）の名称、位置、特徴について解説する。 |
| 朝倉 はるみ | 地域観光研究（海外） | 2 | 観光経営学科 専門科目 | 旅行・観光に関する調査研究機関でのコンサルタント経験を持つ教員が、海外観光旅行自由化以降、日本人に人気の観光地であるハワイについて解説する。ハワイの魅力だけでなく、競合地についても学び、ハワイの魅力と課題を整理して、日本人観光客増加の方向性を考える力を養う講義を行う。 |
| 黒羽 義典 | 観光資源論 | 2 | 観光経営学科 専門科目 | 観光・レジャー産業に関する専門出版社において、施設開発に関する事業収支計画の立案や経営指導、施設開発・経営・運営に関する編集企画・取材などに携わった経験をもとに、観光資源の位置づけ、評価手法、保全・活用策などについて地域活性化の側面から実践的な考え方を身につけられるよう解説する。 |
| 観光経営学科（2022年度以前入学生） 合計14単位（学部共通科目4単位を含む） | | | | |
| 観光経営学科（2023年度以降入学生向け新教育課程） | | | | |
| 吉田 雅也 | ホテル・ビジネス論 | 2 | 観光経営学科 専門科目 | 外資系ホテルおよび国内ホテルでフロント、人事、会計、財務、経営管理を担当。実務経験をもとに、ホテル産業を取り巻く観光市場の動向を把握したうえで、産業の歴史や主要ホテル企業について概観するとともに、実際に各々のホテルがどのようにオペレーションされているかについて講義を行う。 |
| 吉田 雅也 | 管理会計論 | 2 | 観光経営学科 専門科目 | 外資系および国内ホテルでの勤務経験を持つ教員が、ホテル業界で重視されている経営指標や会計手法、ホテルのタイプや経営形態による経営指標の差異や管理会計手法について講義を行う。 |
| 吉田 雅也 | ホスピタリティ・リーダーシップ | 2 | 観光経営学科 専門科目 | 外資系ホテルおよび国内ホテルでフロント、人事、会計、財務、経営管理を担当。実務経験をもとに、ホスピタリティ産業のマネジメントに求められる知識（環境分析に基づく事業戦略の策定、サービスによる価値創造、企業文化の醸成、新規事業開発、リーダーシップ、ダイバシティマネジメント等）について、実際の企業活動を分析しながら講義を行う。 |
| 黒羽 義典 | レジャー・リゾート・ビジネス論 | 2 | 観光経営学科 専門科目 | 観光・レジャー産業に関する専門出版社において、施設開発に関する事業収支計画の立案や経営指導、施設開発・経営・運営に関する編集企画・取材などに携わった経験をもとに、観光・レジャー施設事業における開発・運営の要諦、レジャー・リゾート産業の歴史的経緯、主要企業の経営動向について解説する。 |
| 黒羽 義典 | 観光経営実践Ⅰ | 2 | 観光経営学科 専門科目 | 観光・レジャー産業に関する専門出版社において、施設開発に関する事業収支計画の立案や経営指導、施設開発・経営・運営に関する編集企画・取材などに携わった経験をもとに、観光・レジャー施設事業における開発・運営の要諦、事業成功に向けた具体的手法について解説する。 |
| 黒羽 義典 | 観光経営実践Ⅱ | 2 | 観光経営学科 専門科目 | 観光・レジャー産業に関する専門出版社において、施設開発に関する事業収支計画の立案や経営指導、施設開発・経営・運営に関する編集企画・取材などに携わった経験をもとに、観光・レジャー施設事業における開発・運営の要諦、事業成功に向けた具体的手法について解説する。 |
| 白井 昭彦 | エアライン・ビジネス論 | 2 | 観光経営学科 専門科目 | 国内エアラインでの勤務経験を有する教員が、実務経験に基づき、観光市場における航空産業の重要性、航空産業の歴史、エアラインの特徴等について解説する。 |
| 観光経営学科（2023年度以降入学生） 合計14単位 | | | | |

実務経験のある教員による授業科目一覧：2026年度

| 担当教員名 | 授業科目名 | 単位数 | 配置学部 または学科 | 授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか） |
|-----------------------|------------|-----|-----------------|---|
| 矢尾板俊平 | 日本国家と政治行政 | 1 | 基礎教育（S-BASIC）科目 | 政府系の研究所（独立行政法人）のリサーチアシスタントとして、政策研究プロジェクトの運営に関する補助業務を担った経験に基づき、日本の統治構造や政策過程の実際、危機時における政治行政の対応について解説する。 |
| 守谷 賢二 | 教育相談の理論と方法 | 2 | 教育学部 専門科目 | カウンセラー経験のある教員が、学校現場で求められる教育相談についての解説や、スクールカウンセラー・外部機関との連携の重要性、カウンセリングの基本的な考え方、技法などについて指導を行う。 |
| 守谷 賢二 | 教育心理学 | 2 | 教育学部 専門科目 | カウンセラー経験のある教員が、心理的な視点から学習活動の基盤となる心身の発達の特徴（運動、言語、認知、社会性など）について解説する。 |
| 岡田 大助 | 社会 | 2 | 教育学部 専門科目 | 小学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、小学校教諭一種免許課程である生社会科の科目について、学習指導要領に示されている社会科教育の内容、また、内容を構成する際の視点や内容ごとの階層性について指導する。 |
| 岡田 大助 | 初等社会科教育法 | 2 | 教育学部 専門科目 | 小学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、社会科における指導計画の作成、学習指導案の作成について指導する。 |
| 岡野 雅一 | 生活 | 2 | 教育学部 専門科目 | 小学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、小学校教諭一種免許課程である生活科の科目について、学習指導要領に示されている生活科教育の内容、また、内容を構成する際の視点や内容ごとの階層性について指導する。 |
| 岡野 雅一 | 初等生活科教育法 | 2 | 教育学部 専門科目 | 小学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、生活科における指導計画の作成、学習指導案の作成について指導する。 |
| 岡野 雅一 | 教材研究 | 2 | 教育学部 専門科目 | 小学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、具体的な指導案作成や模擬授業を実施し、教師としての実践的指導力を修得させる。 |
| 岡田 大助 | 事例研究 | 2 | 教育学部 専門科目 | 小学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、学校現場における様々な教育課題に対応できる知識・技能を修得させるために実践演習等を通して指導する。 |
| 教育学部 合計17単位 | | | | |
| 矢尾板俊平 | 日本国家と政治行政 | 1 | 基礎教育（S-BASIC）科目 | 政府系の研究所（独立行政法人）のリサーチアシスタントとして、政策研究プロジェクトの運営に関する補助業務を担った経験に基づき、日本の統治構造や政策過程の実際、危機時における政治行政の対応について解説する。 |
| 西村 敏也 石田 仁 | 地域社会・文化論 | 2 | 地域創生学部 専門科目 | 地方自治体の社会教育行政において業務を担った経験のある教員が、現代地域事情における社会的な見方や文化的な捉え方について学ぶとともに、地域社会や地域文化の多様性や多面性の考察を通して、地域の社会や文化の実相について解説する（西村准教授）。 |
| 齊藤 智美 西村 敏也 | 地域文化政策論 | 2 | 地域創生学部 専門科目 | 学芸員として博物館での業務を担った経験のある教員が、地域の自立促進を図り、魅力ある地域社会を実現するための地域の特性や実情に応じた文化の振興や活性化に係る方策や制度について解説する。 |
| 齊藤 智美 西村 敏也 | 文化財・文化施設論 | 2 | 地域創生学部 専門科目 | 学芸員として博物館において、文化財保護に関わる業務を担った経験のある教員が、将来の地域づくりの核となる文化財について学び、地域文化と地域交流の拠点としての文化施設について学ぶとともに、地域の文化財や文化施設を生かした地域の活性化について解説する。 |
| 齊藤 智美 | 地域振興・交流論 | 2 | 地域創生学部 専門科目 | 学芸員として博物館において、地域の歴史や文化財に関わる業務を担った経験のある教員が、魅力ある地域社会を実現するための地域振興や地域交流の促進について、地域の歴史や伝統に基づく文化に着目し、文化行政や社会教育行政の観点から地域振興や地域交流の取組みについて解説する。そのうえで、全国各地に息づいている多様で豊かな文化を活かした地域振興につながる取組みや地域ごとの特色ある文化を活かした地域交流のための活動やイベントなどの具体的な事例の考察を通して、今後における地域振興や地域交流のあり方について学習する。 |
| 齊藤 智美 | 文化社会学 | 2 | 地域創生学部 専門科目 | 学芸員として地域博物館において、歴史や文化財に関わる業務を担った経験のある教員が、文化社会学を学ぶ意義と目的及び文化社会学の概念と基本的な見方や考え方について概説したうえで、現代における社会現象の内容としての文化の現状と課題について解説する。そのうえで、政治や経済などをはじめ、どのような社会現象にも見出すことのできる文化的な側面に着目し、文化諸要素間の関係及び文化全体の性格を社会と関連させながら、その文化的な側面がどのように作用しているのかについて考察する。 |
| 西村 敏也 | 文化学 | 2 | 地域創生学部 専門科目 | 地方自治体において、学芸員、市史・町史の編纂委員会調査員、教育委員会社会教育課非常勤職員として、文化行政・社会教育行政に関わる業務を担った経験のある教員が、文化学を学ぶ意義や目的について概説し、文化を構成する領域について解説するとともに、地域の伝統的な郷土文化や生活文化の諸相について考察し、地域文化の多様性や特性について解説する。 |
| 中川直洋 横山寿世理 横山英信 | 新事業・商品開発論 | 2 | 地域創生学部 専門科目 | 上場企業の執行役員をはじめ、企業の取締役や顧問として、企業の経営戦略・事業戦略に関わる業務を担った経験のある教員が、事業創造・事業戦略・プロモーション戦略について解説する（中川客員教授）。 |
| 地域創生学部 合計15単位 | | | | |

実務経験のある教員による授業科目一覧：2026年度

| 担当教員名 | 授業科目名 | 単位数 | 配置学部 または学科 | 授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか） |
|-------------|-----------------|-----|---------------|---|
| 森田 喜久男 | 日本史概論 | 4 | 歴史学科 専門科目 | 古代出雲歴史博物館において、古代史を中心とした通史展示（常設展示）の企画、資料調査、展示構成を担当した経験を活かし、日本史概論の内容を、史料の扱い方や歴史叙述の組み立て方と結び付けて解説する。授業では展示事例や史資料を題材に、要点の整理・説明文作成などの演習を行い、歴史情報を分かりやすく伝える力を養う。 |
| 森田 喜久男 | 博物館概論 | 2 | 歴史学科 専門科目 | 古代出雲歴史博物館において、古代史を中心とした通史展示（常設展示）の企画、資料調査、展示構成を担当した経験を活かし、博物館の役割・運営の基礎に加え、展示企画が立ち上がったから公開に至るまでの流れ（調査→構成→制作→広報→評価）を実務の視点で解説する。具体的事例を用いて、学生が博物館活動を総合的に理解できるようにする。 |
| 森田 喜久男 | 博物館資料保存論 | 2 | 歴史学科 専門科目 | 古代出雲歴史博物館において、古代史を中心とした通史展示（常設展示）の企画、資料調査、展示構成を担当した経験を活かし、資料の取り扱いと保存の実務（劣化要因、保存環境、梱包・搬送、展示時の保護措置、点検記録）を、現場の事例を用いて具体的に解説する。授業では資料保存の判断基準を演習し、実務で求められる基本手順を理解させる。 |
| 森田 喜久男 | 博物館教育論 | 2 | 歴史学科 専門科目 | 古代出雲歴史博物館において、古代史を中心とした通史展示（常設展示）の企画、資料調査、展示構成を担当した経験を活かし、博物館を教育資源として活用する方法（学習目標の設定、プログラム設計、ワークシートや解説の作成、来館者対応）を、実例紹介と演習で学ぶ。学生が対象（学校・地域・観光客等）に応じた教育活動を具体的に設計できるよう指導する。 |
| 森田 喜久男 | 博物館情報メディア論 | 2 | 歴史学科 専門科目 | 古代出雲歴史博物館において、古代史を中心とした通史展示（常設展示）の企画、資料調査、展示構成を担当した経験を活かし、展示情報の収集・整理、展示ストーリー設計、キャプション作成、デジタルメディアの活用方法を、具体的事例の分析と演習で扱う。学生には、来館者視点で情報を伝えるための編集・発信の手順を体験させる。 |
| 谷脇 由季子 | 教職概論 | 2 | 歴史学科 専門科目 | 東京大学附属中等教育学校において非常勤講師として授業を担当するだけでなく、専任教員とともに生徒指導や遠足等の教科外指導も行った。さらに世田谷区立下北沢小学校学校運営委員（令和6年4月～委員長）として、学校長や教員たちとの懇談を重ね、学校教育改善の責任者の一人として活動している。こうした経験から、現在の学校教育の方向性や学校現場の実際について常に最新の情報を含めて講義する。 |
| 谷脇 由季子 | 教職実践演習 | 2 | 歴史学科 専門科目 | 東京大学附属中等教育学校において非常勤講師として授業を担当するとともに生徒指導、社会科見学等の教科外指導、教育実習生への指導も行った。このような実務経験をもとにして、教育実習においてどのような態度で臨み、どのように授業展開をするべきかを含めて学生指導を行う。 |
| 村松 弘一 | 東洋史Ⅰ（東アジア） | 2 | 歴史学科 専門科目 | 高等学校で世界史を担当した授業実践を活かし、年表・地図・史料を用いた説明、理解を深める問いの設定、小テストやディスカッションを組み合わせ、東洋史の基礎概念を段階的に定着させる。高校で学んだ知識を大学レベルの視点（史料の読み方・因果関係の捉え方）へ橋渡しする。 |
| 歴史学科 合計18単位 | | | | |
| 杉原 麻美 | 文芸作品研究Ⅰ（創作の表現） | 2 | 表現学科 専門科目 | 情報誌編集長として編集記事や広告制作にたずさわった経験をもつ教員が、小説、広告コピー、歌詞などのさまざまな文章表現の技法をひも解き、文章創作について指導する。 |
| 杉原 麻美 | 表現文化研究Ⅱ（視覚表現） | 4 | 表現学科 専門科目 | 情報誌編集長として編集記事や広告制作にたずさわった経験をもつ教員が、写真撮影の基礎知識、記事や広告におけるビジュアル設計、撮影ディレクションについて指導する。 |
| 川崎 紀弘 | 表現文化研究Ⅳ（視覚表現） | 4 | 表現学科 専門科目 | 出版社、デザイン会社にて、エディトリアルデザイナー、アートディレクター、クリエイティブディレクターを担当。ページのある編集物がどのように作られるか、企画発案から、製本まで一貫して制作する実習と、講義を行う。 |
| 田中 則広 | 放送文化論 | 2 | 表現学科 専門科目 | 放送現場で長年制作に携わってきた元公共放送局ディレクターの教員が、日本のラジオ・テレビ放送の歴史を振り返りながら、動画配信サービスの台頭などによるメディア環境の変化を解説する科目である。テレビニュースの課題やドキュメンタリーにおける倫理問題などを通して、現代メディアを批判的に理解する力を養う。 |
| 田中 則広 | 映像文化論 | 2 | 表現学科 専門科目 | 公共放送局において番組制作の実務経験を有する教員が、映像メディアの歴史的展開を体系的に講義する科目である。各時代の代表的映像作品の視聴と分析を通して、技術革新、表現様式の変遷、ならびに社会的影響について理解を深める。 |
| 田中 則広 | 表現文化研究Ⅶ（映像表現） | 4 | 表現学科 専門科目 | 元公共放送局ディレクターの教員が、高い評価を得たドキュメンタリー作品の視聴と分析を通して、映像作品を読み解く力を養う科目である。作品の構成や演出、取材手法について実務的視点から解説し、討論を重ねることで、批判的読解力と企画発想力を高める。 |
| 田中 則広 | 表現文化専門演習Ⅲ（放送表現） | 1 | 表現学科 専門科目 | 公共放送局において国際報道に携わってきた実務経験を有する教員が、現代の国際社会が抱える諸課題を映像資料とともに講義する科目である。国際情勢を日本との関連で捉える視点を養い、ニュースを多角的に分析する能力の向上を図る。 |
| 表現学科 合計19単位 | | | | |

実務経験のある教員による授業科目一覧：2026年度

| 担当教員名 | 授業科目名 | 単位数 | 配置学部 または学科 | 授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか） |
|---------|-----------|-----|---------------|---|
| 長谷川 美貴子 | 健康科学論Ⅰ | 2 | 人間科学科 専門科目 | 臨床看護師として9年勤務していた。精神科病棟、神経内科病棟、皮膚泌尿器外科、高齢者内科病院などで正看護師として看護業務に従事。健康科学論は人間の健康に関する授業であり、看護は医療の現場で患者の健康面のサポートを行う役割がある。よって、病院勤務中に体験した、病気と健康の関係、健康回復・悪化のメカニズム、健康への人々のニーズなどは、健康について授業中に説明する時、具体的な事例を話すことができ、学生の学習に効果的に作用すると考えられる。 |
| 友田 貴子 | 健康・医療心理学 | 2 | 人間科学科 専門科目 | 精神保健に関する研究所および医療機関での勤務経験をもち、心の健康づくりに関する実践・研究、ならびに心理臨床に携わってきた公認心理師・臨床心理士の資格を有する教員が担当する。健康心理学および医療心理学の基礎と応用について、健康・医療心理学に関するスキルトレーニングを交えながら指導する科目である。 |
| 武内 智弥 | 心理学的支援法 | 2 | 人間科学科 専門科目 | 精神科・心療内科のクリニックのカウンセラーおよびスクールカウンセラーとしての勤務経験があり、公認心理師及び臨床心理士の資格をもつ教員が担当する。心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析、心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助、心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助、心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供といった心理業務の実務経験に基づき、心理学諸領域の基本的な知識・理論の概説や応用の可能性について講義する科目である。 |
| 武内 智弥 | 心理的アセスメント | 2 | 人間科学科 専門科目 | 精神科・心療内科のクリニックのカウンセラーおよびスクールカウンセラーとしての勤務経験があり、公認心理師及び臨床心理士の資格をもつ教員が担当する。心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析、心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助、心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助、心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供といった心理業務の実務経験に基づき、心理学諸領域の基本的な知識・理論の概説や応用の可能性について講義する科目である。 |
| 中西 一弘 | 健康科学論Ⅱ | 2 | 人間科学科 専門科目 | 自治体主催の地域住民対象健康教室、医療機関でのリハビリ体操、フィットネスクラブスクラブでのトレーニング及びエアロビクス等の指導経験をもとに、運動・スポーツの実態や指導法について講義する。 |
| 田中 元基 | 心理学研究法 | 2 | 人間科学科 専門科目 | 研究機関（国立）および研究所（地方独立研究法人）において研究員としての実務経験があり、公認心理師の資格をもつ教員が、心理学的な研究手法について講義する。 |
| 稲垣 美加子 | 相談援助論 | 2 | 人間科学科 専門科目 | 社会福祉に関連する行政・機関・施設でのスーパーバイザーを長年経験。審議会の委員として子ども家庭福祉領域の行政判断に関わる委員会の委員を務めるほか、社会福祉協議会、児童養護施設における各種ソーシャルワーク（相談業務等）に関するスーパーバイザーを務めてきた。また、複数行政の地域福祉計画の策定委員、都内社会福祉協議会新人研修・権利擁護担当者研修の講師も担当。これらの経験をもとに、事例を紹介するなど実践的な「相談援助」の理解に関する授業を展開している。 |
| 吉森 丹衣子 | 教育・学校心理学 | 2 | 人間科学科 専門科目 | 教育領域（学校、教育センター）において、カウンセリング、巡回相談、知能検査等の業務を担当。これらの経験をもとに、現在の教育領域で起きている課題と対応、及び教育領域で働く心理職の役割について講義する。 |
| 永房 典之 | 発達心理学 | 2 | 人間科学科 専門科目 | 小学校や中学校での発達障害や特別支援教育に関する巡回心理相談、小学校でのスクールカウンセラーとしての教育相談にかかわる児童や保護者、教員への発達相談やカウンセリングを担当した。児童などの子どもから保護者などの大人までの発達段階の特徴、学校現場で見られるASDやAD/HDなどの発達障害の児童の特性やその支援について講義する。 |
| 人間科学科 | | | | 合計18単位 |